

一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本 部：〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5-8 号 機械振興会館内  
TEL. 03 (3433) 5391 FAX. 03 (3434) 3354

西日本支部：〒660-0891 兵庫県尼崎市扶桑町 1 番 10 号 住友精密工業(株) 本社内  
TEL. 06-6489-5861 FAX. 06-6489-5905

2019年度技術・標準化合同委員会を開催

2019年6月28日(金) 15:00 から 17:00 まで、技術委員会と標準化委員会との合同で技術・標準化合同委員会を開催しました。本合同委員会の議長は、標準化委員会委員長である当工業会会長が務められることになっており、石川会長により全体の議事が進められました。

初めに石川会長の開会の挨拶あり、以下のような趣旨のお話がありました。「最近新聞等をにぎわしている話題は、『米中貿易戦争がどこまで進んでいくのか』でしょう。今週は、大阪でG20が開催されていますが、どういふ議論が交わされるか、注目されるところです。



技術・標準化合同委員会

主 要 目 次

ISSN. 1345-2371

技術・標準化合同委員会開催・・・・・・・・・・1	広報・PR 事業・・・・・・・・・・6
委員会開催・活動状況	会員ニュース・・・・・・・・・・6
国際交流事業・・・・・・・・・・2	今後の主要行事予定・・・・・・・・・・7
標準化事業／ISO 対策事業・・・・・・・・・・3	統計資料・・・・・・・・・・10
標準化事業／規格事業・・・・・・・・・・4	
技術調査事業・・・・・・・・・・5	

(一社) 日本フルードパワー工業会  
URL : <http://www.jfpa.biz/>

先端技術指標でもある国際特許出願件数は、2018年の国別ではアメリカがトップで約5万6千件、中国が第2位の約5万3千件、日本は2017年に中国に抜かされて約4万9千7百件となっており、中国は2年以内にアメリカを抜くと言われていています。ちなみに最近話題のファーウェイの出願件数は過去最高の5千405件で2年連続1位だそうです。

また、標準化の世界でも、中国は戦略的に標準化機関に関わってきており、自国、自社技術の国際標準化活動を進めています。このような中、最近メモリーなどの標準化団体がファーウェイ排除の動きを見せ、話題となりました。標準化ができなかった技術は市場の成長も期待できないものとなり、このあたりが、昨今の技術覇権争いの一因になっているのかも知れません。技術と標準化は切っても切り離せないものとなっているのではないのでしょうか。

フルードパワーの世界に戻りますと、水圧技術の国際標準化作業が、当工業会主導のもと動き始めて来ております。これは日本の水圧技術を世界に広げ市場を開拓していくきっかけになると思っており、大いに期待しているわけであります。

また、技術委員会では、ポケットブックの改訂作業に本格的に着手したと聞いており、活発な活動をされていると思っております。繰り返しになりますが、技術、標準化の分野での工業会の役割は大きいと期待されているわけで、今後のフルードパワー業界のより一層の発展に向けて、委員の皆様方の活躍に期待しております。本日は、よろしく願いいたします。」

次に、安木技術委員会委員長から以下のようなご挨拶がありました。「昨年度の本会議の挨拶では、ポケットブックの改訂に注力する旨お話ししましたが、実際の活動は各分科会での意見集約程度に止まってしまいました。今年度は編集委員会を立ち上げて、来年度上期発行を目指しますので、皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。」

次に参加各委員による自己紹介が行われ、その後、事務局より、配付資料の確認、技術・標準化委員会の構成、委員登録について説明を行いました。続いて、技術委員会の活動報告に移り、安木技術委員長の司会で、技術委員会傘下の油圧部会、空気圧部会、水圧部会及び空気圧特許分科会の順で平成30年度活動実績及び2019年度活動計画の内容説明が行われ、審議の結果特に異議なく承認されました。

次に、石川会長の司会に戻り、標準化委員会傘下のISO国内対策部会及び規格部会の平成30年度活動実績並びに2019年度活動計画の内容説明が行われ、審議の結果、こちらも特に異議な

く承認されました。引き続き、両部会傘下の22の分科会について各主査より平成30年度活動実績及び2019年度活動計画について説明があり、こちらも滞りなく報告・審議が行われ、特に異議なく承認されました。

また、工業会からは、技術委員会関係では、油圧・空気圧実用ポケットブックの改訂について編集委員会の発足、体制、活動方針等について、また、標準化委員会関係では、ISO/TC131/SC8/WG14（水圧ポンプの試験方法）の設立について経緯、概要、国内委員会の設置等について説明を行いました。

最後に、石川会長より、各委員への慰労の言葉によって会議を終了しました。

当日の会議には、石川会長以下26名の委員が参加され、会議終了後、石川会長を囲み懇親会を開催し、和気あいあいのうちに散会しました。



挨拶をする石川会長

委員会開催・活動状況報告  
(詳細については各担当者にご照会下さい)

~~~~~

#### 国際交流事業

~~~~~

#### 国際委員会及び講演会

日時 6月14日(金) 15:00 ~ 17:00

場所 機振会館 6F 6D-2 会議室

出席者 12名

事務局 藤原、堀江

#### 議事

定刻に新開委員長から開会の挨拶があり、その後日本工業大学客員教授、(一社)日本金型工業会学術顧問、横田悦二郎様を講師として「次世代デジタル化時代を迎えた日本の”ものづくり産業”のロードマップとは」～東洋のシリコンバレー「中国深圳」訪問の衝撃～のテーマで講演会を

開催した。



講演会風景

事務局から平成30年度の事業報告と2019年度の事業計画について説明を行った。なお、2019年度事業計画のうち「海外見本市へのカタログ共同出展・視察団派遣事業への参加の可否について」は今年度は実施せず、隔年で実施しているハノーバーメッセ研修視察団については、次年度もアンケートを実施することとし、また他の工業会と共同での視察団などを今後検討していくこととした。

その後、各委員から最近の海外事情や海外市場動向等について報告並びに討議が行われたのち会議は終了した。

次回開催：12月の予定

~~~~~  
標準化事業／ISO対策事業  
~~~~~

#### 2019年度技術・標準化合同委員会

日時 6月28日(水)、15:00~17:00  
場所 機械振興会館6D-1会議室  
出席者 石川会長以下26名  
事務局 藤原、大橋、前畑  
議事 (1頁参照)

#### 油空圧シール分科会

日時 6月25日(火) 13:30~16:30  
場所 機械振興会館6-64会議室  
出席者 南主査以下15名  
事務局 前畑  
議事

委員の交代があり、北村委員(油研工業)から林委員に、辻田委員(日東工器)から真田委員に交代された。

まず、前回の議事録について確認し、特に問題なく承認された。

次いで、H30年度活動実績と2019年度活動計画について報告があった。

次いで、ISO投票案件について審議した。まず、ISO/CD 7425-1のDIS移行可否について特に指摘はなく賛成で投票することとした。また、ISO/CD 7425-1のDIS移行可否についても特に指摘はなく賛成で投票することとした。

次いで、JIS B 2401-4が準拠しているISO 3601-4の改正に関するアンケート結果の報告があり、日本提案をどう進めるかについて討議した。まずは、シールメーカー各社で内容を吟味・精査し、提案案を作成することとした。

次いで、高圧力技術協会主幹のJIS B 0116(パッキン・ガスケット用語)の改正に参画することになり、第1回委員会が開催された旨の報告があった。シール分科会としては、既存の工業規格との整合性も考慮してもらいたいとの要望があった。

次いで、JFPS 1003(油圧シリンダ用パッキンの使用・選定指針)の改正について審議した。技術的内容は今回でほぼ完成したため、次回から解説の作成に着手することとした。

最後に、ISO規格審議で話題になっているRmrについて、Rmrのデータ計測方策案について提案があり、意見交換した。

次回開催：9月12日、機会振興会館

#### 油圧バルブ分科会

日時 6月26日(水) 13:00~16:00  
場所 機械振興会館6-64会議室  
出席者 浦井主査以下11名  
事務局 前畑  
議事

委員の交代があり、小倉委員(不二越)から山口委員に交代された。

まず、前回の議事録について確認し、特に問題なく承認された。

次いで、H30年度活動実績と2019年度活動計画について報告があり、承認された。本内容で2019年度技術標準化委員会にて報告することとした。

次いで、油圧ポケットブック編集委員会の報告があった。その中で油圧バルブに関する改訂に関して、意見交換した。

次いで、ISO投票案件について審議した。ISO/DIS 10770-3は、説明不足点等があるため、修正付き賛成にて投票することとした。ISO/DIS 9110-1は、特に指摘なく賛成にて投票することとした。ISO/DIS 9110-2は、特に指摘なく賛成にて投票することとした。

次いで、本年10月に開催されるISO/TC131ミ

ラノ国際会議のスケジュールについて報告があり、情報共有した。

最後に、今後の JIS 制定・改正テーマの検討を行った。JIS B 8665 は、ISO/DIS 5783 が発行段階になり次第着手する。JIS B 8355 は、特に改正せず継続とする。JIS B 8357 は、次回から改正検討に着手する。JIS B 8664 は、改正必要だが大幅改正ではないため、時期をみて着手することとした。

次回開催：10月30日、機械振興会館

油空圧継手・ホース分科会

日時 6月27日(木) 13:00~16:00

場所 機械振興会館 6-64 会議室

出席者 板井主査以下 8 名

事務局 前畑

議事

委員の交代があり、緒方委員（日東工器）から辻田委員に交代された。

まず、前回の議事録について確認し、特に問題なく承認された。

次いで、ISO 投票案件 5 件について審議した。その結果、SR 7241:Confirm、SR 11926-1:Confirm、SR 11926-2:Confirm、SR 11926-3:Confirm、DIS 19879:Approval、にて投票することとした。また、ISO 12151-3 は改正提案には賛成だが、エキスパートが参加するか否か各社で検討し投票することとした。

次いで、今年 10 月に開催予定の ISO ミラノ国際会議のスケジュールについて情報共有した。

次いで、JIS B 2355-2（対応国際規格：ISO 6149-2）の改正について、内容を確認し作業分担を決定した。次回以降、各分担毎に審議していくこととした。

最後に、今後のテーマの材料としていくため、現行の JIS 改正必要案件について、状況を確認した。

次回開催：9月10日、機械振興会館

\* ISO の動き

投票に付されている ISO 規格案 (FDIS, DIS)

(TC131)

ISO/FDIS 5598, Fluid power systems and components -- Vocabulary

ISO/DIS 9110-1, Hydraulic fluid power -- Measurement techniques -- Part 1: General measurement principles

ISO/DIS 9110-2, Hydraulic fluid power -- Measurement techniques -- Part 2: Measurement of average steady-state pressure in a closed

conduit

ISO/FDIS 4411.2, Hydraulic fluid power -- Valves -- Determination of differential pressure/flow rate characteristics

~~~~~

標準化事業/規格事業

~~~~~

空気圧調質機器分科会

日時 6月5日(水) 13:00~16:00

場所 機械振興会館 6-63 会議室

出席者 國崎主査以下 4 名

事務局 前畑

議事

まず、前回の議事録について確認し、一部誤記訂正があったが、内容には特に問題なく承認された。

次いで、5月開催された ISO パリ国際会議の報告がなされた。日本提案のサイレンサ規格 ANNEX(normative)が審議され、修正項目に関しドイツが取りまとめることになった。

次いで、ISO 投票案件として、ISO/FDIS 20145.2 について審議した。本件、2回目の FDIS であるが、ドラフトが修正されていることを確認し、Approval にて投票することとした。

次いで、JIS B 8372-2（空気圧-空気圧用減圧弁及びフィルタ付減圧弁-第 2 部：供給者の文書に表示する主要特性の試験方法）改正について審議した。今回で修正作業が終了したため、日本規格協会へ提出することとした。

次回開催：8月22日、機械振興会館

空気圧流量測定分科会

日時 6月14日(金) 13:00~16:00

場所 機械振興会館 6-64 会議室

出席者 妹尾主査以下 8 名

事務局 前畑

議事

委員の交代があり、八手又委員（日本ピスコ）から高沢委員に交代された。

まず、前回の議事録について確認し、特に問題なく承認された。

次いで、ISO 投票案件について報告があった。ISO 6358-1:2013/DAmD 1 について、日本からのコメントと修正案については、受理された。

次いで、本年 5 月に開催された ISO パリ会議について報告があった。SC5/WG3 会議では時間不足につき未審議議案があったため、次回（ミラノ）で審議することとなったとのこと。また、SC9/WG2

会議では次回に日本提案をプレゼンする必要があるとのこと。

次いで、ポケットブック編集委員会について報告があった。次回から当分科会の担当部分を審議することとした。

最後に、JIS B8372-3（空気圧-空気圧用減圧弁及びフィルタ付減圧弁-第3部：減圧弁の流量特性の代替試験方法）の改正について審議した。前回に引き続き ISO 6953-3 原文と比較しながら原案修正作業を実施した。

次回開催：8月30日、機械振興会館

水圧システム分科会

開催日 6月28日（金）

場 所 機械振興会館 311号室会議室

出席者 大林主査以下6名

事務局 宮川、大橋

議 事

1. ISO/TC131 パリ会議の報告と今後の対応

資料「ISO-TC131-SC8-WG14\_N0003\_Report\_TC131-SC8-WG14\_Paris\_15\_May\_2019」に基づき、会議で議長を務められた柳田先生と大野アドバイザーから会議状況の説明がなされた。また、「ポンプ試験方法」WD に対するコメントの修正案と、当分科会で検討し回答すべき内容、日程を確認した。

2. 「用語」の規格化検討と今後の進め方

ADS 国際標準化推進委員会の2019年度実施内容に基づき、①ISO-WD 初期案（2018.4 作成）の追加検討事項の確認、②最新の用語案一覧表の説明、などの後、本年度 ISO-NP 提案目標日程の確認と作業手順を打ち合わせた。

3. 次回

第3回：8月2日（金）機振会館

第4回：8月第4週～第5週として調整

発行された JIS

JIS B 8366-3 油圧・空気圧システム及び機器-シリンダー構成要素及び識別記号-第3部：標準ピストンストローク

JIS B 8366-4 油圧・空気圧システム及び機器-シリンダー構成要素及び識別記号-第4部：ピストンロッド先端形状及び寸法

~~~~~

技術調査事業

~~~~~

ポケットブック編集委員会

日 時 6月6日（木）15：00～17：00

場 所 機械振興会館 6-64・6-63 会議室

出席者 安木統括委員長以下17名

事務局 前畑、大橋

議 事

安木統括委員長（油研工業）、北川油圧委員長（東京工業大学名誉教授）の開会挨拶、委員自己紹介の後、事務局よりポケットブック編集委員会運営案及び各分科会より意見収集した改訂内容の概要について説明があった。

その後、油圧及び空気圧の各編集委員会に分かれ審議を行った。各編集委員会とも、発行目標に向けた改訂作業の進め方を主に討議された。次回の編集委員会までの間、各委員で分担した範囲について改訂作業を進めることになった。

次回開催：別途調整

ADS 国際標準化推進委員会

開催日 6月11日（火）

場 所 機械振興会館 B2-2 会議室

出席者 池尾委員長以下18名

事務局 宮川、前畑、大野、大橋

議 事

池尾委員長の開会挨拶の後、議事に移った。

1. ADS 国際標準化推進委員会の継続にあたって  
「平成31年度省エネルギー等に関する国際標準の獲得・普及促進事業委託費 実施計画書（仕様書）」の抜粋資料に基づいて、藤原専務から事業の目的、実施内容と方法、実施体制などについて説明がなされた。

2. 2019年度国際標準化推進・大日程計画（案）  
配布資料に基づき、事務局から本年度の重要案件、推進委員会及び ISO/TC131 会議開催予定などを説明した。また、国内での ISO 対応及び国内規格立案の体制として、標準化委員会・規格部会の下に水圧システム分科会を立ち上げたことを紹介した。

3. ISO-TC131/SC8 WG14 パリ会議報告

会議の議長を務めた柳田先生、及び大野 ADV より、会議の位置付け、参加国・メンバーについて報告がなされた。また、テーマとなった水圧ポンプ WD についての審議内容と今後の予定について概要が説明された。

4. 2019年度 WG-A～E 実施計画

配布資料に基づき、出席大学の先生及び学生から本年度の実施内容及び日程を発表してもらい、質疑応答を行った。実験装置の追加予算については別途個別に相談を受けることとした。

次回開催：

第2回委員会を2019年8月F～M、第3回委員会を11月M 目途に別途調整する。

技術委員会空気圧部会第 560 回特許分科会  
日 時 6 月 21 日 (金) 12:00 ~ 17:00  
場 所 長岡京市中央生涯学習センター 会議  
室 3  
出席者 河野幹事以下 4 名  
事務局 吉田  
議 事

はじめに前回議事録の確認を行った。公報の検討と無効理由調査について 1 件を新規案件として調査を開始することとした。2 件について引き続きウォッチングを継続することとした。2 件については引き続き調査することとした。1 件については見解書の作成依頼について確認した。特許異議申立て及び無効審判・検討経過チェック表の記載について検討した。分科会開催日程の一部変更を確認した。  
次回開催: 7 月 26 日 (金) 機振会館 6-61 会議室

~~~~~  
広報・PR 事業  
~~~~~

第 125 回編集委員会 WG  
日時 6 月 6 日 (木) 15:00 ~ 17:00  
場所 機振会館 B3-7 会議室  
出席者 宮主査以下 9 名  
事務局 大橋  
議事

1. VOL. 33, NO. 3 (夏号) ~ NO. 4 (夏号) 進捗  
夏号は入稿済み、校正または校了段階。ただし、ハノーバー視察団報告は諸事情により秋号に掲載することにした。秋号は概ね寄稿依頼を済ませたが、FP の挑戦、身近な FP、会員の窓などに予定がない。技術講座とミニ知識は 1 号分お休みとすることにした。

2. VOL. 34 年間企画状況  
連載では、技術講座をどんなテーマの記事にするかが課題であり、いくつかの案を審議し、執筆候補提案を委員に依頼した。ミニ知識は「油圧用ホースアセンブリ」を題材に 3 号分依頼し、既に入稿済み。ずいひつも秋号まで依頼済み。次世代 FP は昨日段階で女性もほぼ決まり秋号まで充足。FP の挑戦、身近な FP、会員の窓が相変わらず予定がなく、委員の提案に期待したい。

3. 記事提案  
記事提案は今回 13 件であり、2020 年掲載予定  
6. その他  
機関紙送付先拡大は、埼玉大学と中央大学の各図書館を見込んでいる。

前回到引き続き、委員数の増大に関して意見交換し、アクセサリ、作動油関連の会員企業にまず事務局から打診してみることにした。  
次回開催: 第 126 回 WG 8 月下旬~9 月上旬で調整。

~~~~~  
会員ニュース  
~~~~~

☆代表取締役の交代  
(賛助会員)  
(株) タカコから代表取締役の交代の連絡がありましたのでお知らせします。  
株式会社タカコ  
(新 任)  
代表取締役社長 加賀谷 浩  
(退 任)  
取締役会長 皆見 良孝

~~~~~  
今後の主要行事予定  
~~~~~

☆7 月 10 日 (水) 中小企業委員会  
(場 所) CKD(株) 四日市工場  
☆10 月 11 日 (金) 西日本支部総会  
第 87 回理事会  
(場 所) 都ホテルニューアルカイク  
☆10 月 12 日 (土) 西日本懇親ゴルフ会  
(場 所) マスターズゴルフ倶楽部

\* 2020 年  
☆1 月 15 日 (水) 年始会・第 88 回理事会  
(場 所) 東京プリンスホテル (芝公園)

~~~~~  
6 月に開催された当会各委員会に出席された皆様は以下の通りです。(敬称略)  
~~~~~

(国際交流事業)  
国際委員会  
開催日 6 月 14 日 (金)  
出席者  
委員長 新開 諭 (甲南電機)  
委 員 小坂 篤夫 (イハラサイエンス)  
" 村田 育子 (KYB)  
" 山崎 真人 (廣瀬バルブ工業)  
" 風間 英朗 (日本アキュムレータ)  
" 原沢 直季 (コガネイ)

〃 河口 悟 (CKD)  
〃 澤田啓支朗 (タイオンテクノロジ)  
〃 池田 豊 (三菱電線工業)  
〃 宮坂 篤 (油研工業)  
〃 渡部圭次 (経済産業省)  
アドバイザー 安田正一 (経済産業省)

(標準化事業/ISO 対策事業)

2019 年度技術・標準化合同委員会

開催日 6月28日(金)

出席者

標準化委員会委員長

石川孝 (TAIYO)

技術委員会委員長

安木秀己 (油研工業)

部長 浦井隆宏 (ボッシュ・レックスロス)

〃 満嶋 弘二 (KYB)

〃 井川 彰 (CKD)

〃 宮川新平 (JFPA)

委員 齋藤理人 (日本アキュムレータ)

〃 町田哲治 (東京計器)

〃 加藤弘毅 (KYB)

〃 渡部文雄 (日本シリンダ共同事業)

〃 板井淳一 (横浜ゴム)

〃 難波竹己 (日本ポール)

〃 南暢 (バルカー)

〃 井之上紀章 (川崎重工業)

〃 堀内均 (ダイキン工業)

〃 兵藤訓一 (東京計器)

〃 安藤隆史 (豊興工業)

〃 増尾秀三 (CKD)

〃 渡辺敏之 (TAIYO)

〃 浅里信之 (ニッタ)

〃 渡邊陽 (コガネイ)

〃 國崎雄嗣 (CKD)

〃 妹尾満 (SMC)

〃 花澤一吉 (CKD)

〃 田中崇行 (SMC)

〃 大林義博 (KYB)

油空圧シール分科会

開催日 6月25日(火)

出席者

主査 南暢 (バルカー)

委員 高牟礼辰雄 (JFPA)

〃 伊藤清明 (KYB)

〃 宮本博夫 (NOK)

〃 中尾雅司 (NOK)

〃 大関浩太郎 (SMC)

〃 寺島剛資 (エア・ウォーター・マッハ)

〃 曾谷崇 (甲南電機)

〃 但木郁夫 (荒井製作所)

〃 太田正貴 (阪上製作所)

〃 假屋隆広 (三菱電線工業)

〃 辻田智 (日東工器)

〃 真田秀幸 (日東工器)

〃 北村剛 (油研工業)

〃 林明宏 (油研工業)

油圧バルブ分科会

開催日 6月26日(水)

出席者

主査 浦井隆宏 (ボッシュ・レックスロス)

委員 中村雅之 (KYB)

〃 瀬川均 (ダイキン工業)

〃 小林義伸 (日立建機)

〃 山口正志 (不二越)

〃 藤坂昌廣 (豊興工業)

〃 高野一治 (油研工業)

〃 八上光春 (廣瀬バルブ工業)

油空圧継手・ホース分科会

開催日 6月27日(木)

出席者

主査 板井淳一 (横浜ゴム)

委員 岩崎宏文 (イハラサイエンス)

〃 間口雄太 (ニッタ)

〃 横岡慎吾 (ブリヂストン)

〃 金城良 (東京計器)

〃 緒方征嗣 (日東工器)

〃 辻田智 (日東工器)

〃 小島研二 (日本ホース金具工業会)

(標準化事業/規格事業)

空気圧調質機器分科会

開催日 6月5日(水)

出席者

主査 國崎雄嗣 (CKD)

委員 三村岳 (SMC)

〃 土岐真人 (コガネイ)

〃 阪上隆之 (甲南電機)

空気圧流量測定分科会

開催日 6月14日(金)

出席者

主査 妹尾満 (SMC)

委員 小関亨 (TAIYO)

〃 佐々木政彰 (アズビル TACO)

〃 斉藤悠 (コガネイ)

〃 浅里信之 (ニッタ)

- 〃 八手又秀浩（日本ピスコ）
- 〃 高沢清継（日本ピスコ）
- 〃 香川利春（東京工業大学）

水圧システム分科会

開催日 6月28日（金）

出席者

- 主査 大林義博（KYB）
- 委員 細井浩平（堀内機械）
- 〃 松村悠太（阪上製作所）
- 〃 杉村健（日本アキュムレータ）

オブザーバー 柳田秀記（豊橋技科大学）

オブザーバー 大野淳一（JFPA）

（技術調査事業）

ポケットブック編集委員会

開催日 6月6日（木）

出席者

- 統括委員長 安木秀己（油研工業）
- 油圧委員長 北川能（東工大名誉教授）
- 油圧主査 渋谷文昭（東京計器）
- 油圧委員 満嶋弘二（KYB）
- 〃 山本裕（ボッシュ・レックスロス）
- 〃 加藤弘毅（KYB）
- 〃 渡部文雄（日本シリンダ共同事業）
- 〃 高野一治（油研工業）
- 〃 中川幸隆（川崎重工業）
- 〃 難波竹己（日本ポール）

空気圧主査 妹尾満（SMC）

空気圧委員 井川彰（CKD）

- 〃 増尾秀三（CKD）
- 〃 國崎雄嗣（CKD）
- 〃 渡邊陽（コガネイ）
- 〃 渡辺敏之（TAIYO）
- 〃 竹内則久（オリオン機械）

ADS 国際標準化推進委員会

開催日 6月11日（火）

出席者

- 委員長 池尾 茂（上智大学）
- 委員 眞田一志（横浜国立大学）
- 〃 柳田秀記（豊橋技術科学大学）
- 〃 鈴木健児（神奈川大学）
- 〃 大林義博（KYB）
- 〃 黒須 寛（イハラサイエンス）
- 〃 松村悠太（阪上製作所）
- 〃 井口 務（廣瀬バルブ工業）
- 〃 細井耕平（堀内機械）

オブザーバー 安田正一（経済産業省）

オブザーバー 渡部圭次（経済産業省）

オブザーバー 池之浦啓介（野村総合研究所）

〃 鳥居良介（阪上製作所）

学 生 大塚怜汰（横浜国立大学）

〃 錦戸将也（横浜国立大学）

〃 武井裕紀（信州大学）

〃 岡崎和満（豊橋技科大学）

技術委員会空気圧部会第560回特許分科会

開催日 6月21日（金）

出席者

幹 事 河野喜之（甲南電機）

委員 井野雅康（SMC）

〃 今野英俊（コガネイ）

〃 細田一也（CKD）

（広報・PR 関連事業）

第125回編集委員会 WG

開催日 6月6日（木）

出席者

- 主査 宮 能治（KYB）
- 副委員長 水野純一（CKD）
- 委員 小辻一雄（コガネイ）
- 〃 松島嘉則（阪上製作所）
- 〃 豊田敏久（川崎重工業）
- 〃 佐藤俊明（SMC）
- 〃 東川智信（TAIYO）
- 〃 宮坂 篤（油研工業）
- 〃 諸橋 博（東京計器）

~~~~~  
月間行事概要  
~~~~~

<6月>

- 5日（水）
  - ・標準化（委）空気圧調質機器分科会
- 6日（木）
  - ・技術（委）ポケットブック編集委員会
  - ・広報・PR（委）編集委員会 WG
- 11日（火）
  - ・ADS 国際標準化推進委員会
- 14日（金）
  - ・標準化（委）空気圧流量測定分科会
- 14日（金）国際（委）・講演会
- 21日（金）
  - ・技術（委）空気圧部会第560回特許分科会
- 25日（火）
  - ・ISO（委）油空圧シール分科会
- 26日（水）



・ ISO（委）油圧バルブ分科会

27日（木）

・ ISO（委）継手ホース分科会

28日（金）

・ 標準化（委）水圧システム分科会

・ ISO（委）技術・標準化合同委員会

---

☆経済産業省ホームページ

経済産業省の HP では①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。

<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁 HP でも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>

---